

## もりのにぎわい通信

### 2018年2月24日 定例活動報告

日時：2018年2月24日（土）9：00～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 8～13℃ 湿度 32% 風向 西南西 風速 6m

参加者：18人：子ども0人、大人18人（内土地改良区8人）

#### ■活動

9:00 集合（土地改良区）

15 枯れたマツの伐採とシイタケ用楢木用に切る・・・チェーンソー

除草作業

枯れ木や枯れ枝の焼却・・・チェーンソー、スコップ、フォーク、消火用の水（300ℓ）、バケツ

小分けにして燃やす

45 受付

10:00 集合

作業の打合せ

15 枝打ちの仕方について・・・説明、資料配布

枝打ち作業開始・・・ノコギリ、剪定バサミ、バケツ

30 鍋の用意

11:00 休憩（シイタケの菌打ちの打合せ）

15 作業再開

12:00 昼食

13:00 枯れ枝の焼却、除草作業、果樹の施肥（牛ふん堆肥）

14:30 後片付け

火の始末と消防署への連絡

15:00 解散

#### ■活動報告

今月の定例作業は、先月に引き続き苗木の枝打ちと枯れた木や枝の焼却。その他枯れたマツの伐採と伐り倒しておいたコナラをシイタケの楢木用に伐ることを手分けして行いました。作業現場が広範囲で全員が作業に加わっていたため、活動写真を撮り切れていませんでした。（写真が少な目）

消却用の水 300 リッターは、小高さんから頂いた井戸水です。前日の雨で多少地面が湿っているとはいえ空気は乾燥しているようです。幸い、風もなく穏やかで早い春を思わせる日和ですが、枯れ草

に飛び火する危険があるので、焼却作業は十分注意しながら行いました。

早速、改良区の皆さんで枯れたマツ（10本）と太いコナラをシイタケの楯木用にチェーンソーでカットしてもらいました。散策路の奥から軽トラで枯れたマツの運搬したものと伐採しておいた枝とでかなりの量になっていましたが、周りに火が燃え移らないよう注意しながら焼却することができました。休憩、お昼にも15分交代で火の番をしてもらいました。今日は、気温も上がって汗ばむ上に勢いよく燃え上がる枯れ木の焼却作業は、暑くて大変でした。中でも太いスギの丸太は、灰になるまで二日はかかると言われ、早めに水をかけ穴を掘って埋めることにしました。水タンクからジョウロやバケツで水をまき土をかけて完全に消えるのを確認しました。今後は、ただ焼却してしまうのではなく、燃料となる薪の活用など考えていきたいです。

スギ・コナラ混植エリアは、手入れが遅れがちでしたが、ボランティアの皆さんのお蔭で枝打ち、クズの蔓切で人がようやく入れるようになってきました。来月、もう一息というところでしょうか？

お昼は、人気の水炊きと差し入れて頂いた炊き込みご飯やパンを頂きました。今月も美味しいお昼ごはんを食べて午後の作業に備えます。

定例の一コマから、「森の手入作業が夢に出てきて仕事の悩み解消になった。」と言うKさんや間伐材の有効活用を真剣に考えている自分がいたり、皆さん作業中にいろいろなことを思いながら取り組んでいるみたいです。定例活動は、癒しとリフレッシュ効果あり、森の恵みあり、そして森の資源としての可能性など探りながらこれからも皆さんと楽しんでいきたいと思っています。

ところで、ピョンチャンオリンピック閉幕まで残り2日。日本人選手の活躍に涙して元気ももらいました。森の手入がスポーツジムのように身体を動かし健康寿命につながるとしたら、活動を協力して下さる方が増えるような気がします。今日ご協力くださった皆様、本当にお疲れ様でした。最後に大学生の杉浦さん、就職活動を応援しています。頑張ってください。

（記録： 星野 静枝）

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、3月24日（土）（雨天の場合3月25日（日））除草作業、苗木の枝の剪定、間伐材の片づけなどを行います。



集合写真



中央エリアの様子



枯れたマツの伐採



シイタケの楢木用



チェーンソーで伐採



焼却の様子



残った枝を燃やしているところ？



スギとコナラのエリアがきれいに・・・。



枝打ち作業



クリの木エリアもきれいに・・・。



散策路から見た混植エリア



進入路沿いのしだれ梅